

横浜市国際学生会館運営事業（指定管理業務）

指定管理者として外国人の留学生、研究者に宿泊施設を提供するとともに、多文化共生社会の実現を目指し、交流事業を通して市民の国際理解の増進に寄与すると共に行政や地元自治会等と連携し地域に貢献します。（指定期間：平成25年4月から5年間）

(1) 宿泊施設の提供 合計 115 室（定員 135 名）

単身室 95 室（定員 95 名） 家族室 10 室（定員 20 名）

研究者室 5 室（定員 10 名） 臨時宿泊室 5 室（定員 10 名）

(2) 多文化共生社会の実現を目指す事業

ア 国際理解事業

(ア) 児童生徒国際理解事業—留学生による小中学生を対象とした

a 出前授業

b 地球村一日留学

(イ) 市民文化交流事業—講義型、参加型

a 語学講座

b 文化講座

c 交流会、研究発表会等

イ 地域貢献事業

(ア) 災害対策

a 津波発生時の避難場所の管理運営

b 潮田交流プラザ防災訓練

c 潮田西部地区の防災訓練、汐入小学校地域防災拠点における外国人サポート訓練等

(イ) 地域イベントへの参画/参加

a 潮田神社祭礼の神輿

b 潮田西部地区の盆踊り、運動会等

c 潮田交流プラザ秋まつり

d 潮田西部地区の運動会

(ウ) 行政施策への協力

a 行政、関係機関が主催する事業等

ウ 留学生支援事業

(ア) 留学生への日本語支援

a チュータープログラム説明・交流会の開催

b 留学生へのチューター紹介

c チュータースキルアップ研修の開催

d チューター親睦会の開催

(イ) 就職・生活支援相談

a 就職セミナー等の開催

b 生活相談

(ウ) 留学生会・OB会支援

a OBによる就職体験交流会

- b 留学生会及びOB会の活動支援
- c 館長コミュニケーションタイム

エ 広報事業

(ア) 広報誌の発行

- a 「よこはま地球村」の発行（年4回）

(イ) ホームページ、FBによる情報発信

- a ホームページ等の管理運営（日本語版・英語版）

(ウ) マスコミ、ミニコミ誌等を活用

- a マスコミ、地域のミニコミ誌への情報発信・情報提供

自主事業計画書

1 国際理解事業

事業名	対象・目的・実施時期・回数等	収入(千円)
(1)児童生徒 国際理解事業  出前授業(教室)	ア 留学生による出前授業 ≪目的・内容等≫ 小・中・高等学校に留学生を派遣し、留学生の母国文化や母語の紹介を通して児童生徒の異文化理解を深めます。 ・母語の紹介 ・生活文化の紹介 ・ゲームや遊びの体験 ≪実施時期・回数≫ ・通年、60回 イ 地球村一日留学 ≪目的・内容等≫ 小学生が留学生と外国語で挨拶したり、世界の遊びを体験しながら異文化を理解します。 ・外国語で挨拶 ・世界の遊びの体験 ≪実施時期・回数≫ ・8月、1回	(内訳) 参加費 30
		支出
		(内訳) 謝金 400 教材費等 60 交通費 20 雑費 20
		500
 出前授業(体育館)		
 地球村一日留学		

事業名	対象・目的・実施時期・回数等	収入(千円)
(2)市民文化交流事業  英会話サロン	ア 語学講座 イ 会話交流会 ウ 海外文化講座 エ 研究発表会・交流会等の開催(IUC等とのコラボ) ≪目的・内容等≫ 市民が留学生の母語を学ぶ講座、英語や中国語で留学生と会話を楽しむサロン、留学生が母国文化を紹介する講座を開催します。 また外国人留学生や留学経験のある日本人大学生から留学体験談を聞く交流会や、留学生との英語ディスカッション等を通して、将来グローバルな舞台で活躍する高校生・大学生を育てます。 事業の開催に当たっては IUC 等の国際機関や当協会が管理運営する鶴見国際交流ラウンジ、地区センターなどとの協働・共催による相乗効果を図ります。また高校生・大学生に運営ボランティアとしての参加を呼び掛け、国際交流の機会を提供します。 ≪対象≫ 市内在住・在勤・在学者 ≪時期、回数等≫ 通年、25回開催	(内訳) 受講料 350
		支出
		(内訳) 謝金 600 教材費等 120 交流会 20 雑費 40 交通費 20
		80
 日中友好のためのパネルディスカッション		

自主事業計画書

2-1 地域貢献事業

事業名	対象・目的・実施時期・回数等	収入(千円)
(1)災害対策  潮田交流プラザ防災訓練 (地震想定)	ア 津波等災害発生時における避難場所の管理運営に関する訓練の実施 ≪目的・内容等≫ 津波発生時には地域住民の津波避難施設として、また、災害発生時の帰宅困難者の一時避難場所として施設を開放することで、地域防災の一翼を担います。 ・津波等災害発生時の避難場所の運営 ・避難施設の管理運営マニュアル等の作成 ・備蓄食糧等の補充管理 ≪実施時期・回数≫ ・通年	(内訳) 0 0
	イ 潮田交流プラザ防災訓練の実施 ≪目的・内容等≫ 災害の発生に備え入館者の避難訓練を行うとともに、複合施設であるケアプラザのお年寄りの避難介助の補助を留学生が担えるよう三施設協働による防災訓練を行います。 ・避難訓練 ・消火訓練 ・避難介助の補助訓練 ≪実施時期・回数≫ ・年2回(春、秋)	支出 (内訳) ・備蓄食糧等 100
	ウ 汐入小学校地域防災拠点訓練への参画 ≪目的・内容等≫ 地震発生時には汐入小学校地域防災拠点に避難してきた定住外国人をサポートできるよう、地域防災拠点の訓練に積極的に参画することにより地域住民との信頼関係を築きます。 ・避難訓練 ・外国人サポート訓練 ≪実施時期・回数≫ ・年1回(秋)	100 100
 避難経路の確認		


自主事業計画書


2-2 地域貢献事業


事業名	対象・目的・実施時期・回数等	収入(千円)
<p>(2)地域イベント等への参画</p>  <p>潮田神社祭礼</p>  <p>潮田西部地区盆踊り大会</p>  <p>潮田西部地区体育祭</p>  <p>秋まつり国際屋台村</p>  <p>秋まつり国際カフェ</p>	<p>ア 地域主催のイベントへ参加</p> <p>《目的・内容等》 高齢化、核家族化が進む地域では、祭りや運動会等を盛り上げる若い留学生の活躍が期待されています。日本文化に触れられる地域イベントに今後も積極的に参加することで、地域住民との交流を深め地域の活性化に貢献してまいります。</p> <p>《実施時期・回数》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・潮田神社祭礼の神輿 6月 ・盆踊り 7月 ・潮田西部地区体育祭 10月 ・餅つき大会 12月 ・花見、そば打ち等『おっさんネットワーク鶴見』等との交流 2,4月 <p>イ 潮田交流プラザ秋まつりの開催</p> <p>《目的・内容等》 地域の一員として、地域住民に会館の存在や活動を理解して頂くため、複合施設である地区センターと地域ケアプラザとの協働による潮田交流プラザ秋まつりを開催し、地域との触れ合いを大切にしていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋台出店(各国の料理提供) ・インターナショナルカフェ開店(各国の茶菓提供) ・留学生によるパフォーマンス <p>《実施時期・回数》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1回(秋) <p>ウ 行政施策への協力支援</p> <p>《目的・内容等》 市や区が主催する多文化共生に関する街づくり事業や市内観光等の集客等に関する提案などについて、外国人の視点から留学生の意見を求められる機会が増えています。そのため、会館として今後も行政施策に協力していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市や区の多文化共生事業への参画 ・行政施策等に関するアンケート調査等への協力 <p>《実施時期・回数》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通年 	<p>100</p> <p>(内訳)</p> <p>参加費 20</p> <p>売上 80</p> <hr/> <p>支出</p> <p>390</p> <p>(内訳)</p> <p>衣装代 30</p> <p>謝金 30</p> <p>雑費 50</p> <p>材料費 200</p> <p>交流会 80</p>

自主事業計画書

3 留学生支援事業


事業名	対象・目的・実施時期・回数等	収入(千円)
(1) 留学生への日本語支援  チューターのための指導法講座	≪対象≫ ・チューター(日本語支援市民ボランティア) ・留学生 ≪目的・内容等≫ 市民ボランティアによるチューター制度を導入し、日本語学習や就職活動などを支援します。併せて、チューターのスキルアップ研修やチューター同士の情報交換会等を開催することで、指導レベルの向上を図ります。 ≪実施時期・回数≫ ・チューター説明会・交流会の開催 5月 ・留学生にチューターを紹介 通年 ・チュータースキルアップ研修の開催 9月	0
		(内訳)
		支出
		400
		(内訳)
		謝金 330
		交流会 20
		郵送料 50


事業名	対象・目的・実施時期・回数等	収入(千円)
(2) 就職・生活相談支援  OBによる就職相談会	≪目的・内容等≫ 留学生の就職活動を支援するため、人材育成・就職支援を手掛ける企業や経済界などとの連携による就職セミナー、OBによる就職体験交流会等を開催します。 また退館を控えた留学生を対象にNPO法人かながわ外国人すまいるサポートセンター、行政書士などと連携し、留学生の退館後の生活に関する支援を行います。 その他、生活全般に関する苦情・相談等に職員が対応するとともに、社内メールや定例会等で情報を共有し迅速に処理します。 ≪実施時期・回数≫ ・就職セミナー等の開催 年2回 ・退館者を対象とした生活相談会 1月 ・日常の生活相談 通年	0
		(内訳)
		支出
		0
		110
		(内訳)
		謝金 100
		雑費 10


事業名	対象・目的・実施時期・回数等	収入(千円)
(3) 留学生会・OB会活動支援  留学生会役員会	≪目的・内容等≫ 入居者同士のコミュニケーションを活性化するため、留学生会主催によるスポーツ大会や懇親会等をサポートするとともに、会館OBとの交流会等を開催することで、入館者とOBとのネットワークを強化してまいります。 ≪実施時期・回数≫ ・留学生会役員会(館長コミュニケーションタイム等) 年4回 ・スポーツ大会 年2回 ・OBとの交流 年2回	20
		(内訳)
		支出
		20
		290
		(内訳)
		交流会 240
		雑費 30
		郵送料 20

自主事業計画書

4 広報事業

事業名	対象・目的・実施時期・回数等	収入(千円)
(1) 広報誌の発行 	≪対象≫ ・市民 ・入館者、OB ・大学等の関係機関 ・行政等 ≪目的・内容等≫ 会館の存在や活動等を幅広く理解して頂き、施設の市民利用の促進を図るとともに、国際交流の増進に寄与するため、年4回、季刊誌を発行します。	0
		(内訳)
		支出
		550
		(内訳)
		製作費 350
		謝金 50
		郵送料 150

事業名	対象・目的・実施時期・回数等	収入(千円)
(2) ホームページによる 情報発信 	≪目的・内容等≫ 会館の存在や活動等を世界の人々や関係機関等に幅広く理解して頂き、施設利用の促進を図るとともに、国際交流の増進に寄与するため、ホームページ(日本語、英語)による情報発信に努めます。 「OB ネットワーク/Alumni Network」のページを使って、OB 登録を呼び掛け、ネットワーク作りを進めます。 ≪実施時期・回数≫ ・通年、適宜更新	0
		(内訳)
		支出
		100
		(内訳)
		製作費 100

事業名	対象・目的・実施時期・回数等	収入(千円)
(3) その他 	ア メールリストを活用した情報発信 ≪対象≫ ・YOKE メールリスト参加者 ・事業に協力した市民ボランティア ・入館者、OB ≪目的・内容等≫ 会館の活動を効率的に PR し、交流事業の参加を促進します。また、ニーズの把握も併せて行うことにより、事業に反映していきます。 入館者メールリストは災害時の安否確認ツールとしての利用も想定しているので、避難訓練の際にはメールを一斉送信し正常に機能していることを確認します。 イ マスコミ、ミニコミ誌等を活用した情報提供 ≪対象≫ ・市民、市民ボランティア、大学の関係機関、団体等 ≪目的・内容等≫ 会館の存在や活動等を幅広く理解して頂き、施設の市民利用を促進するとともに、国際理解・交流事業等への市民の参加を進めます。	0
		(内訳)
		支出
		内部捻出により支出
		(内訳)



フェイスブック

ウ フェイスブックを活用した情報発信・収集

《対象》

・入館者、OB ・職員、元職員

《目的・内容等》

退館後も国際学生会館ファミリーとしてのつながりを保ち、築いたネットワークを会館運営に生かしていくために、関係者だけが参加できるフェイスブックを使って情報の発信・収集を行います。